

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	家庭					授業形態	講義		
科目コード	750085	単位数	2単位	配当学年	2年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	堂 蘭 敬子								
授業概要	<p>小学校家庭科では、「生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住など?に関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力」の育成を目指す。そこで本授業では教材研究や実習、実技を通して小学校家庭科で扱う内容、特に実習内容について理解させる。また、実生活と関連を図った問題解決的な学習を効果的に取り入れる。特に、小学校家庭科で扱う食分野の「ご飯と味噌汁」衣分野の「ミシンをつかったのバッグづくり」「小物づくり」などを実際に行うことで、子どもたちがぶつかる困難さや作り上げたときの達成感などを味わうようにさせる。</p>								
関連する科目									
授業の進め方 と方法	<p>前半の6回の授業は、家庭科教育の「A 家族・家庭生活」「B 衣食住の生活」「C 消費生活・環境」の学習内容の理解を中心に講義形式で行う。後半は、家庭科の授業において子どもたちが最も楽しみにしている実習の基礎・基本となる内容を実践する。また、新学習指導要領に新設された「消費者教育」についても、ゲームを取り入れた授業を行う。日本の伝統である着物の着付け、調理実習、バッグ製作を行う。家庭科は、教科本来の目的からも学習成果を実際の生活に生かすということからも、実践的・体験的額y数を重視する独自性がある。そこで、多くの実習を取り入れ、一連の実習・体験活動によって実感をもって理解を深め、実際の生活に生かすことができるようにする。ひいては指導者としての指導力向上につながる。</p>								
授業計画 【第1回】	オリエンテーション 授業の進め方、グループ作り								
授業計画 【第2回】	家庭科教育の意義～ 家庭科をなぜ学ぶのか。家庭科の歴史を探る。～ 自己紹介、育てたい力								
授業計画 【第3回】	「A 家族・家庭生活」の指導内容・学習内容についての理解～多様な家族と家庭科～								
授業計画 【第4回】	「C 消費生活・環境」の指導内容・学習内容についての理解 消費者教育：売買契約と消費者トラブル								
授業計画 【第5回】	「C 消費生活・環境」の指導内容・学習内容についての理解 消費者教育：じゃんけんゲーム、豆腐を選ぶ								
授業計画 【第6回】	「B 衣食住の生活」衣生活領域の指導内容・学習内容についての理解 伝統と文化～浴衣の着付け～								
授業計画 【第7回】	「B 衣食住の生活」住領域の指導内容・学習内容についての理解 ～住むことを考える～								
授業計画 【第8回】	「B 衣食住の生活」食領域の指導内容 調理実習の基本と包丁の使い方、日本型朝食：～ご飯と味噌汁の作り方を調べよう								
授業計画 【第9回】	B ご飯と味噌汁の調理実習								
授業計画 【第10回】	B 実習反省、一人一実習（ジャーマンポテトづくりの確認）の準備								
授業計画 【第11回】	B ジャーマンポテト作り（一人一実習）・反省								

授業計画 【第12回】	B 並縫いの基本でマスクを作る。
授業計画 【第13回】	B ミシンをつかってレッスンバックを作る。① 採寸、下準備、ミシンの使い方
授業計画 【第14回】	B ミシンをつかってレッスンバックを作る。② 本縫い、アイロンがけ
授業計画 【第15回】	B フェルトを使って簡単な小物を作る。 90分でできる小物・・・構想、準備、手順など自分で考える。
授業の到達目標	1 小学校家庭科の特質を踏まえ、教育内容について理解する。 2 家庭科の授業展開に関する実践的な授業技術を身に付ける。 3 家庭科を実際に指導する際の基礎・基本的な知識や技術を習得する。
学位授与の方針 (DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(2)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外の学修 【予習】	技能を高めるために家庭で練習することが望ましい。
授業時間外の学修 【復習】	授業で得た知識や技能を家庭でぜひ実践し、応用してより新しいことに挑戦する。
課題に対する フィードバック	実習や作品提出については解説する。また、実習では一緒に実技を行う。
評価方法・基準	1 作品提出ーレッスンバック、マスク、小物ー60点 2 実習・講義への参加（関心、意欲、態度）ー10点 3 定期考査ー30点
テキスト	学習指導要領 家庭科編 東洋出版
参考書	必要なものは、資料として配布
備考	小学校学級担任22年、教頭11年、校長5年また九州小学校家庭科教育研究会会長の実務体験をしている。研修会等での研究上業も多く経験している。その際のような経験を生かして、より具体的な実践事例を示しながら、指導を行う。